



令和6年度

月形町地域おこし協力隊の活動報告



月形町では地域おこし協力隊として現在5名の隊員が活躍しています。各隊員が今年度取り組んでいる事業の報告や来年度への意気込みをご紹介します。

地域おこし協力隊(令和4年12月着任)

氏名 金澤 大輔
金澤 桃子

活動 農業研修員
内容 (新規就農・花き生産)



令和6年度の主な活動内容

実習農場で経営・栽培管理・出荷までのすべてを自分たちで実践しました。

初めて経験することばかりでしたので、「何とかやり遂げた」というのが正直な感想です。しかし、気持ちは折れることなく前向きなまま過ごすことができました。月形町で切り花農家としてやっていく決意を固めることができた大きな1年となったからです。振り返るとさまざまな経験を積み重ねることができた充実した日々でした。

師匠の大江さんをはじめ先輩農家さん、JA職員の皆さん、隊員の仲間、たくさんの支えがあり、無事にシーズンを終えることができました。また作業の合間に新聞の取材があったり、YouTubeで配信する動画の撮影があったりなど、たくさんの貴重な経験をすることができました。それからツキガタアートヴィレッジの皆さんや、つきがたdesignの皆さんと交流していく中で活力をいただきました。そして私たちがそんな活動をしている間に、息子は安心してこども園で過ごすことができました。関係者、応援してくださった皆さんに改めてお礼申し上げます。心から「ありがとうございました!」これからも、どうぞよろしく願いいたします。



令和7年度の活動予定

地域おこし協力隊の任期が終了し、ついに4月から就農します。これからのことを考えると、楽しみな気持ちと少々不安が渦巻いています。

雪深い季節は時の流れが穏やかで、湧き上がってくる様々な感情と向き合うことが多いです。それでも、昨年度の良くなかった結果をじっくりと分析しながら準備をして春から軽やかにスタートを切れるようにしたいと思います。(でも現実には絶対にバタバタしていると思います!)

今年も失敗や無駄なことをたくさん経験すると思いますが、挫けずにがむしゃらに、でも視野は広く、何より大好きな花たちを愛しながら、家族で楽しく営農していけたらと意気込んでおります。一步ずつ、着実に成長していきたいです。

地域おこし協力隊(令和5年6月着任)

氏名 石原 絢子

活動
内容 月形町で生産される花を通して
町内外へのPRを行っています。



令和6年度の主な活動内容

- 道の駅「275つきがた」OPENの際、エントランスとカウンターに月形町の花のアレンジメントを装飾しました。また、特産品として月形町の花を蒸留したボタニカルミストスプレーを開発販売し、商品に係るオリジナルロゴの開発も行いました！今後も違う花やブレンドを作っていきます。
- 月報「花日和」を発行し、その月に出荷される花の一覧紹介や前の月の活動内容を町の皆さんにご報告しました。
- 満月のイベントを今年も開催できました！今回は町内の方からのご紹介でヨガやクリスタルボウルの演奏も行われ、素敵な時間と空間が出来上がりました。
- 二十歳を祝う会にて月形町産のドライフラワーを使用したフォトフレームギフトを作成しプレゼントしました。思い出として飾っていただけると嬉しいです。
- 毎月1度の社会福祉協議会あずまし食堂でお花を飾らせていただきました。
- 月形町産のお花を市場から仕入れ、SNSで品種の紹介を行っています。
- 小中高校の卒入学式のお花を作らせていただきました。
- 花の里こども園へ母の日に月形町産のカーネーションを園児一人一本ずつプレゼントしました！保護者の方へ無事届き、直接メッセージも頂き大変嬉しかったです！



令和7年度の活動予定

今期が地域おこし協力隊の最後の期間です。任期満了後の計画として移動花屋を考えております。今年はその準備を進めていきたいです。

また、ツキガタアートヴィレッジを拠点として、月形刑務所で加工していただいたドライフラワーを使用したワークショップや制作活動を行いたいです。

町内施設での花飾りや、こども園、小中高校での花育は継続して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

活動内容は今年も月報「花日和」にて毎月報告いたしますので、皆さん今年もどうぞよろしくお願いいたします！

地域おこし協力隊（令和5年11月着任）

氏名 田中 健太郎
田中 玲奈

活動 農業研修員
内容 （新規就農・ミニトマト生産）



令和6年度の主な活動内容

昨年は①ツキビズキャンプ参加、②ミニトマト農家親方修行、③新設住宅へ引っ越しと盛りだくさんの一年でした。①は2、3月に町で開催された起業支援プログラムにて、将来描く農家像について参加、発表しました。農業を志した理由や目指す姿などについて家族で再確認する機会になり、町内の知り合いもこの企画によって増え、月形ライフが楽しみになりました。②の昨年のメインであるミニトマト農家さんの下での農業研修では、1シーズン通してミニトマトの作業を一から教えていただきました。春先は雪の残る中、ハウスにビニールを張り、育苗、定植、水と温度管理、追肥、防除、誘引、収穫と日々わからないことだらけで、体力的にもヘトヘトでした。そんな中「自分で作っているつもりでやりなさい」と親方にお言葉をいただき、すっかりその気になった我々にとってはあっという間のシーズンでした。③は10月に実習農場内に新規就農者向け住宅が新設され引っ越ししました。平屋でオシャレな暖かい新居です。冬本番になり住宅周り～農場の広い範囲を除雪することが最近の日課です。農家になった自分たちをイメージした日々を送れているのも町、農協、農家の皆さんのおかげです。



令和7年度の活動予定

今年は実習農場にて、ミニトマトをハウス4棟で生産、出荷する実践の1年となります。農作業は春からになりますが、ここ最近も今シーズンの計画や資材の準備、倉庫整理など盛りだくさんの冬を過ごしています。昨年学んだことを実践する初めての機会になるので、不安はたくさんあります。しかし、ここでも「たくさん失敗して覚えなさい」と親方にいただいたお言葉を胸に、あえて失敗することで多くを得る姿勢で挑戦していきたいと思っています。農業の世界には教科書やマニュアルにない、その土地、その年のやり方があると教わりました。必勝法もなければ毎年同じやり方が正しいともわかりません。親方に教えていただいたことを実践、記録、反省し、また親方に教えを乞う、そんな充実した実習農場での一年にしたいと思います。農作業の様子などは継続して地域おこし協力隊のFacebookに投稿していきますので、ご覧いただくと嬉しいです。本年もよろしくお願いいたします。

地域おこし協力隊(令和5年3月着任)

氏名 坂下 陽一

活動
内容 月形温泉リニューアルおよび
道の駅の開設準備業務



令和6年度の主な活動内容

月形温泉リニューアル、道の駅オープンのためリニューアル準備室のメンバーとして配属され準備活動に従事しておりました。

具体的には他地域の道の駅や温浴施設売店などの視察、陳列商品、卸業者の調査選定、売店、備品の選定、新規スタッフの売店関連業務の教育、売店に関する社内ルールの整理など、非常に多岐にわたる内容でした。

特に印象に残っているのは月形町内の出品商品に携る業務でした。今回私は商品募集に関して一定の基準を出品希望者様に明示する必要性を感じ、町内出品商品の募集要項を作成し月形町振興公社として説明会を開催いたしました。その後出品者様と相談を重ね、月形温泉リニューアルオープン時には多くの商品の販売を開始することができたことは、蒔いた種が実をつけて無事収穫できたような、充実感を得られることができたと思います。

これまで自治体の事業に直接関わったことや、温泉のような施設のリニューアルオープンに業務上携わった経験はなかったもので、とても新鮮でかつ多くのことを学ばせていただきました。



退任のあいさつ

令和7年1月をもって退任いたしました。

私が月形町に来たエピソードを記します。実家は札幌です。つい最近まで運転免許を持っていませんでしたが、あることがきっかけで2年前に取得しました。その直後に練習も兼ねて札幌近郊の温泉を巡った中の一つが「月形温泉」でした。直後に転職を考えたタイミングで月形温泉の協力隊募集を目にして応募し、現在に至ります。数年前から温泉やサウナが好きで、また『地域おこし協力隊』の制度にも関心がありました。免許取得や協力隊募集のタイミングは非常に運命的に感じたのを覚えています。免許を取るまで札幌の郊外の事には、ほぼ関心がないに近かったと思いますが、札幌のすぐ近郊にも面白い世界が広がっていることを気付くきっかけとなりました。

最後に、月形町で関わらせていただいたすべての方々に感謝を申し上げます。いまでは空知地方を身近に感じているので、たまに遊びに来たいと思います。お見かけしたらまたよろしくお願いします。